



## DNW-20012 の概要

課題番号 : DNW-20012

課題名 : 細胞増殖性因子 X を標的とした癌幹細胞治療の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

玉井 恵一 (地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立がんセンター  
研究所)

課題番号 DNW-20012 では、細胞増殖性因子 X を標的とした、扁平上皮癌、特に肺癌および下咽頭癌に対する新たな治療薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

扁平上皮癌に発現し、増殖能及び遊走能を制御する細胞増殖性因子 X とがん増殖性関連分子との相互作用の阻害による抗腫瘍効果を示す化合物の創出。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 細胞増殖性因子 X の蛋白質のみ欠損させたがん細胞では細胞増殖能抑制を認めなかったが、siRNA によるノックダウンにより細胞増殖能抑制を認めた。
- 2) 細胞増殖性因子 X のゲノム欠損細胞は、非欠損細胞に比してスフェア形成能が低下するが、当該 mRNA の補充によりスフェア形成能が回復する。

- 最終目標 :

細胞増殖性因子 X との細胞内相互作用分子が同定され、その制御による効果が広く扁平上皮癌において確認されること。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。